レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日			
登録診療科	婦人科	申請医師		化学療法委員会承認年月	平成　　年　　月
レジメン名	CDDP+RT(ホスアプレピタント)(子宮・卵巣がん)				
疾患名	子宮がん・卵巣がん	適応の備考	3コース施行してから評価し、効果があれば6コース施行する。 放射線照射と同時に開始する。腔内照射時は併用しない。		
適応分類					
1コース日数	7　日間	総コース数	6　コース	催吐性リスク	高度
抗がん剤投与量・投与日	シスプラチン30mg/㎡　day1				

治療スケジュール　・　投与日程（投与日は●）　(day)

投与順	ﾙｰﾄ・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7
1	主ルート	ソルアセトF500mL	2 本 / body	4 時間	●						
	点滴静注		/								
			/								
2	側管	生食250mL	1 本 / body		●						
	点滴静注	ホスアプレピタント注150mg	1 本 / body	30 分	●						
			/								
3	側管	ﾊﾟﾛﾉｾﾄﾛﾝ注ﾊﾞｯｸﾞ0.75mg	1 本 / body		●						
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●						
		デキサート注1.65mg	2 本 / body		●						
4	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●						
	点滴静注	シスプラチン注	30 mg / ㎡	2 時間	●						
			/								
	シスプラチンと同量の生食を抜いて混注する										
5	主ルート	ソルアセトF500mL	2 本 / body	4 時間	●						
	点滴静注		/								
			/								
		デカドロン錠	8 mg / body			●					
	経口投与		/								
			/								
	分2朝昼食後										
		デカドロン錠	16 mg / body				●	●			
	経口投与		/								
			/								
	分2朝昼食後										

【投与上の注意】

・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。

・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。

・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。

シスプラチン：希釈は生食のみ。

シスプラチン：腎毒性軽減のためhydrationが必要。

シスプラチン：適宜利尿剤を投与